

新しいカヌーで、
もっと楽しく、爽快に



きらめく接岨湖へ、漕ぎ出そう！



**企業版ふるさと納税で
新カヌーを導入**

昨年度、田村駒株式会社（本社：大阪府）から自社製品である「FOLBOT」のカヌーを寄付いただきました。

従来のカヌーより軽量で、中学生二人でも運びやすくなったほか、二人乗り用も増え、より多くの児童・生徒が協力して漕ぐ体験が出来るようになりました。今年初めて二人乗りを体験した生徒たちも多く見られました。

水辺で命を守る学び

授業の最後には、ライフジャケットの浮遊体験を行い、水難事故防止や命を守る行動の大切さを学びます。これは、毎年継続して実施している取り組みで、水辺の万が一に備える知識や行動について理解を深めています。

カヌー教室では、水辺の楽しさとともに、安全について学ぶ機会を提供しています。



緑映える湖で、息を合わせて
カヌー教室
in 接岨湖

自然の中で学ぶ「パドルスポーツのまち」

この町ならではの授業

本川根B&G海洋センターでは、毎年6月から9月にかけて、町内の義務教育学校の全学年を対象にしたカヌー教室を実施しています。1年生と2年生は同センターのプールで、3年生から9年生は接岨湖で、カヌーに親しみながら、体を動かし、自然や水辺での体験の仕方を学びます。

笑顔広がる接岨湖

6月18日、光の森学園の7年生から9年生25名が、接岨湖でカヌー教室に参加しました。はじめに乗り込むときの不安定さに「待って待って」と声を上げる様子も見られました。それでも自然と声を掛け合いながら姿勢を整え、あつという間に安定して進めるようになっていきます。

中村所長から「二人同じタイミングで漕ぐと、ぐっと前に進むよ」と声がかかると、息を合わせてパドルを動かし、カヌーはすつと水を切るように進み、みるみるうちに湖の中央へ進んで行きました。

続けることで見える成長

中村所長は、これまでを振り返り、「去年出来なかったことが出来るようになっていく。少しずつ自信をつけていく表情が、何よりの喜び」と語りました。



本年度、カヤック&SUPのレンタル事業がスタート！
詳しくは、センターへお問い合わせください。
【問】本川根B&G海洋センター ☎0547(59)3332